

レジメン登録フォーマット

申請年月日	2020年6月30日	使用開始日	
登録診療科	耳鼻咽喉科	申請医師	坂田義治
レジメン名	CDDP併用RT		
疾患名	頭頸部癌	適応の備考	
適応分類	進行再発		
1コース日数	21 日間	総コース数	3 コース
抗がん剤投与量・投与日	シスプラチン80mg/m <sup>2</sup> day1		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	90 分	●																				
	点滴静注	8:00~	/	/																					
2	主ルート	生食500mL	1 本 / body	90 分	●																				
	点滴静注	硫酸Mg補正液1mEq/mL	6 mL / body		●																				
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	プロイメント注150mg	1 本 / body		●																				
Rp3とRp4を同時に投与開始																									
4	側管1	アロキン注ハック0.75mg50mL	1 本 / body	30 分	●																				
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●																				
Rp3とRp4を同時に投与開始																									
5	主ルート	マンニトール注 20% 300mL	1 本 / body	1 時間	●																				
6	主ルート	生食500mL	1 本 / body	2 時間	●																				
	点滴静注	シスプラチン	80 mg / m <sup>2</sup>		●																				
シスプラチンと同量の生食を抜いてから混注する(合計500mLとする)																									
7	主ルート	生食500mL	1 本 / body	90 分	●																				
8	主ルート	フィジオ140輸液500mL	1 本 / body	90 分	●																				
	点滴静注	/	/																						
9	主ルート	フィジオ140輸液 500mL	2 本 / body	4 時間	●	●																			
	点滴静注	Rp9とRp10を同時に投与開始																							
10	側管1	生食50mL	1 本 / body	30 分	●	●																			
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●	●																			
Rp9とRp10を同時に投与開始																									
11	主ルート	生食1000mL	1 本 / body	4 時間	●	●																			
点滴静注																									

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例: Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

day0-3にルートキープ用のヘパリンNaロックシリンジ 1本を必要時処方する

シスプラチン: 希釈は生食のみ。

シスプラチン: 腎毒性軽減のためhydrationが必要。必要に応じて、day4,5に輸液を追加する。

シスプラチンはGFRに基づき投与量を決定する。 GFR≥60→80mg/m<sup>2</sup>、 60>GFR≥45→60mg/m<sup>2</sup>、 45>GFR→投与禁忌

・プロイメントは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・プロイメントは抗がん剤投与の1-1.5時間前に30分かけて点滴すること。

・プロイメント、5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

・併用RT: 2Gy1回 1日1回週5日